

## 1 函館山の碑 (御殿山山頂広場)

回廊・展望・ミュージアム



この碑の前からは、天気の良い日には、遠く駒ヶ岳が眺望でき、函館山を訪れる人の多くが、記念撮影を行っています。  
平成元(1989)年設置



## 2 伊能忠敬北海道最初の測量地 (御殿山山頂展望台壁面)



伊能忠敬は、日本最初の実測地図を作成するため、寛政12(1800)年に幕府の許可を受け、東海岸から根室まで蝦夷地の実測を行いました。その起点が函館山であったことを記念して、昭和32(1957)年4月、函館市が御殿山山頂展望台の側面に肖像ブロンズをはめ込んで設置しています。

## 3 トーマス・ライト・ブラキストンの碑 (御殿山山頂)



ブラキストンは、1832年イギリスに生まれ、文久3(1863)年に日本での事業をおこなうために来函し、事業を継続しながら鳥類を採集・研究、気象観測も行いました。  
明治12(1879)年には、函館滞在中に道内で捕獲した鳥類標本を開拓使函館支庁俣博物場(現在の市立函館博物館)に寄贈しています。この標本は、現在北海道大学植物園・博物館に所蔵されています。

明治16(1883)年、本州と北海道の動物に著しい違いがあることを、アジア協会報に発表して注目され、津軽海峡が「ブラキストンライン」と呼ばれるようになりました。

この碑は、昭和35(1960)年に、函館青年会議所が札幌出身の彫刻家、本郷新氏に依頼し、正面上部にブラキストンのブロンズ像がはめ込まれた黒御影石、裏面は白御影石で、碑文が刻まれたブロンズ版がはめ込まれています。

## 4 青函連絡船海難者の慰霊碑 (登山道入口横)



元々は、戦中に殉職した職員の霊を慰めるために、昭和28(1953)年に建立されたものですが、洞爺丸台風(昭和29年)での殉職者も後に合祀されています。

この碑の横には、洞爺丸と同じく遭難した北見丸、第十一青函丸の連絡船乗組員の慰霊碑が建立されています。

## 函館山ハイキングコース

<b>入江山コース</b>	●距離/約360m ●所要時間/約20分	<b>七曲りコース</b>	●距離/約990m ●所要時間/約35分
<b>観音コース</b>	●距離/約1,250m ●所要時間/約40分	<b>宮の森コース</b>	●距離/約1,200m ●所要時間/約40分
<b>薬師山コース</b>	●距離/約550m ●所要時間/約25分	<b>エゾダテ山コース</b>	●距離/約410m ●所要時間/約25分
<b>旧登山道コース</b>		<b>地蔵山コース</b>	●距離/約830m ●所要時間/約30分
<b>つつし山コース</b>	●距離/約1,640m ●所要時間/約50分	<b>千畳敷コース</b>	●距離/約2,300m ●所要時間/約65分
<b>千畳敷コース</b>	●距離/約1,600m ●所要時間/約50分	<b>汐見山コース</b>	●距離/約990m ●所要時間/約35分

※各コースの所要時間については、ゆったり散策した場合の時間です。  
あくまでも目安としてご覧下さい。

